2021 年 11 月

「ダパグリフロジン」適応追加後の処方傾向変化について

株式会社日本医薬総合研究所
営業企画グループ

日本調剤グループで医薬コンサルティング事業を行っている株式会社日本医薬総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三津原　庸介）は、独自に運用する「処方箋データベース」をもとに、医薬品市場の処方傾向変化を分析してまいりました。

日次・週次・月次の処方箋データベース（RI-PDS、RI-CORE）を用いて、様々な分析を行っており、その一例として、新型コロナウイルスが医薬品市場に与えた影響について定期的に報告して参りましたが、その市場影響もだいぶ落ち着いてきております。そこで今回は、COVID-19 による影響以外の分析結果の例として、ダパグリフロジン適応追加後の処方傾向変化についてご紹介します。

日本において、ダパグリフロジンは 2014 年 5 月に 2 型糖尿病治療薬として上市されました。その後、2019 年 3 月に 1 型糖尿病、2020 年 11 月に慢性心不全、2021 年 8 月に慢性腎臓病（ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く）に対する効能、または効果の追加承認がなされました。1 型糖尿病に対する用法用量は 5 mg を 1 日 1 回（10 mg を 1 日 1 回に増量可能)、慢性心不全、慢性腎臓病に対する用法用量は 10 mg を 1 日 1 回とされています。

承認年月	承認された効能・効果	用法・用量
2014 年 5 月	2 型糖尿病	5 mg（最大 10 mg）を 1 日 1 回
2019 年 3 月	1 型糖尿病	5 mg（最大 10 mg）を 1 日 1 回
2020 年 11 月	慢性心不全	**10 mg**を 1 日 1 回
2021 年 8 月	慢性腎臓病 （但し、末期不全又は透析施行中の患者を除く）	**10 mg**を 1 日 1 回

心不全、腎臓病への適応拡大による処方傾向を分析するため、集計対象期間を 2018 年 4 月から 2021 年 10 月としました。

・対象期間：2018 年 4 月から 2021 年 10 月

・対象店舗：日本調剤の調剤薬局　540 店舗（2021 年 10 月現在、2018 年 4 月以降の新規店舗を除く）

1. 診療科別・一日量別患者数割合

糖尿病、慢性心不全、慢性腎臓病では処方される診療科や用法用量に違いが生じると考えられます。そのため、診療科別・一日量別に患者数推移を比較しました。1 型糖尿病の適応追加がなされる前の 2019 年 1 月～3 月の平均患者数を基準（100%）とし、各月の患者数

割合の時系列推移を Fig.1 に示します。

診療科別での比較では、2020 年 12 月以降の内科（循環器系）、2021 年 8 月以降の腎・泌尿器系で患者数割合の大きな増加が認められました（Fig.1-a）。これは慢性心不全、慢性腎臓病の適応追加と同時期です。従って 1 型糖尿病の適応追加では処方が増加せず、慢性心不全、慢性腎不全の適応追加では各診療科で処方が増加したと想定されます。

一日量別患者数割合でも同様な傾向が確認され、2020 年 12 月以降 10 mg/day の処方がなされる患者数が増加しました（Fig. 1-b）。

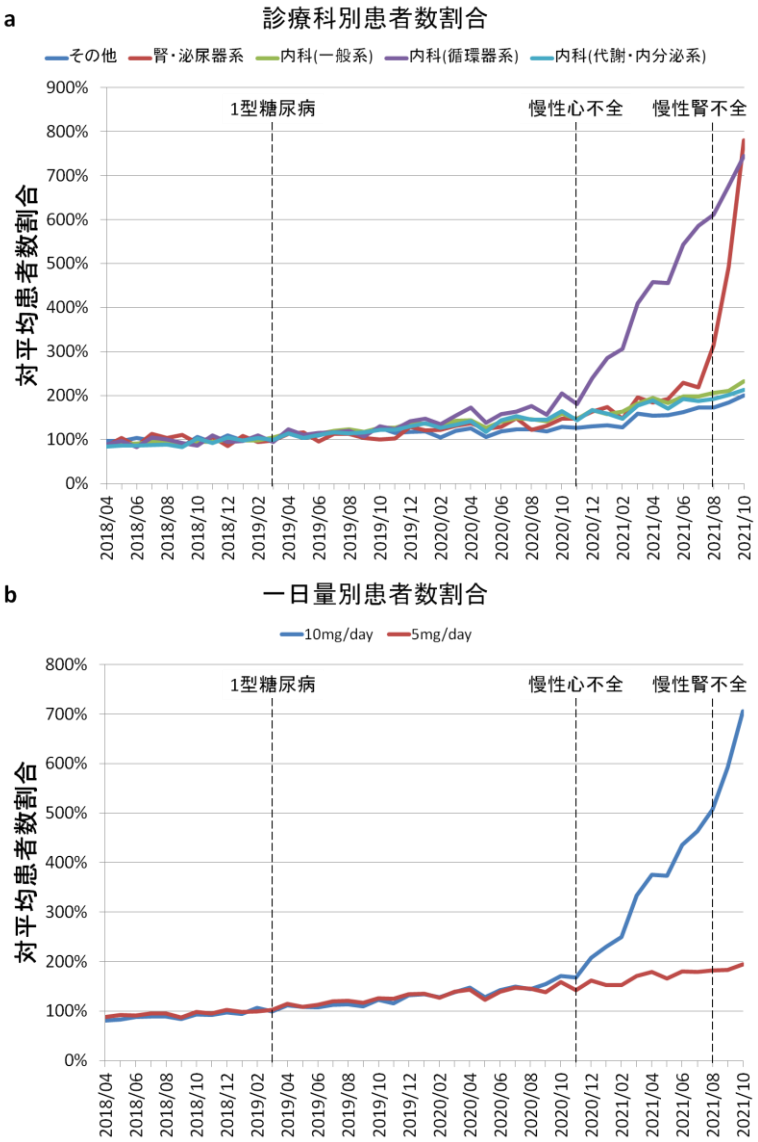


Fig.1 診療科別・一日量別患者数割合推移

2. 適応追加後の投与日数変化

次に投与日数変化に着目して分析を行いました。平均投与日数を一日量及び病床数別で分け、適応追加前後の推移を分析しました。

慢性心不全、慢性腎不全の用法用量は 10 mg/day であるため、適応追加前後で 5 mg/day の平均投与日数に変化は見られませんでした（Fig. 2-a)。一方、10 mg/day では 100 床以上の医療機関で平均投与日数の減少が見られました（Fig. 2-b)。

さらに、10mg/day について、どの投与日数が減少したのか分析を行いました。0～19 床、400 床以上を対象とし、投与日数別構成割合を集計しました（Fig. 3)。0～19 床は適応追加前後で変化がなかったのに対し（Fig. 3-a)、400 床以上では 2020 年 12 月頃より 56 日以上投与の割合が減少し、14～27 日投与の割合が増加していました（Fig. 3-b)。400 床以上の医療機関はは 0～19 床の医療機関と異なり疾患が重い患者が多いと想定されること、従来の適応である糖尿病患者ではなく慢性心不全患者への処方がなされていると想定されることより、安全を考慮して長期処方よりも短期処方が増加したと考えられます。

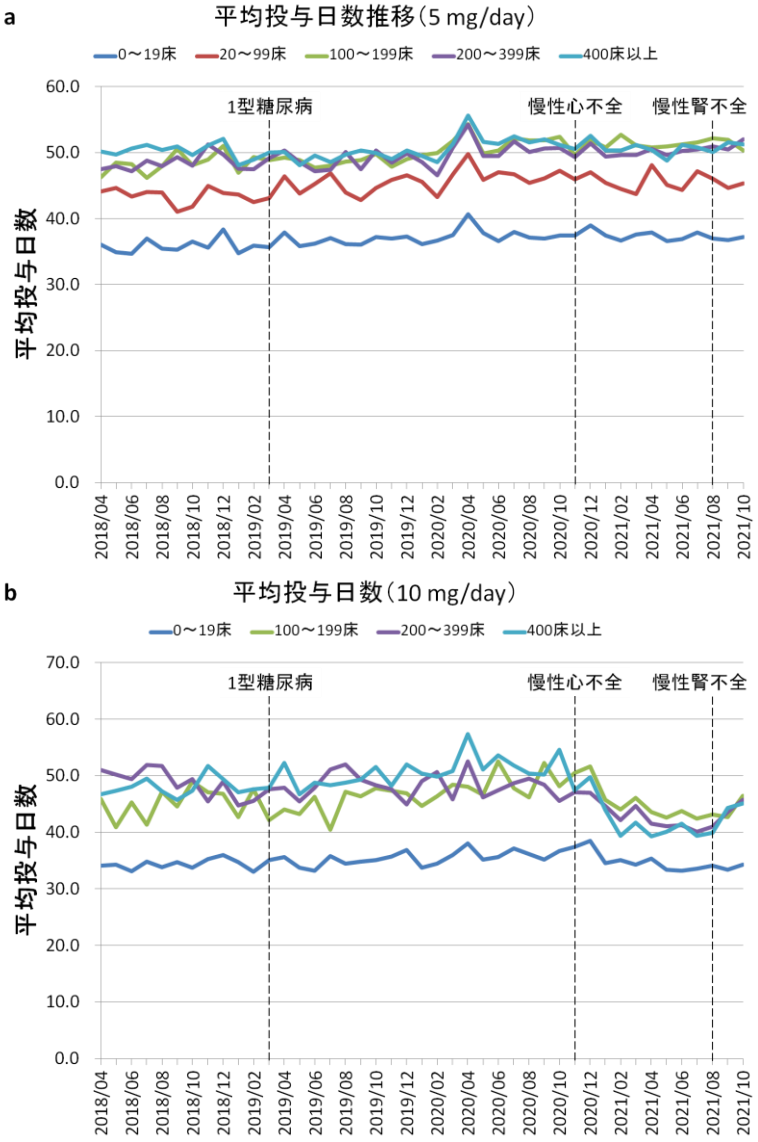


Fig. 2 平均投与日数推移

(20～99 床では 10 mg/day の処方が少ないため Fig. 2-b から 20～99 床を除外しています)

2021 年 11 月

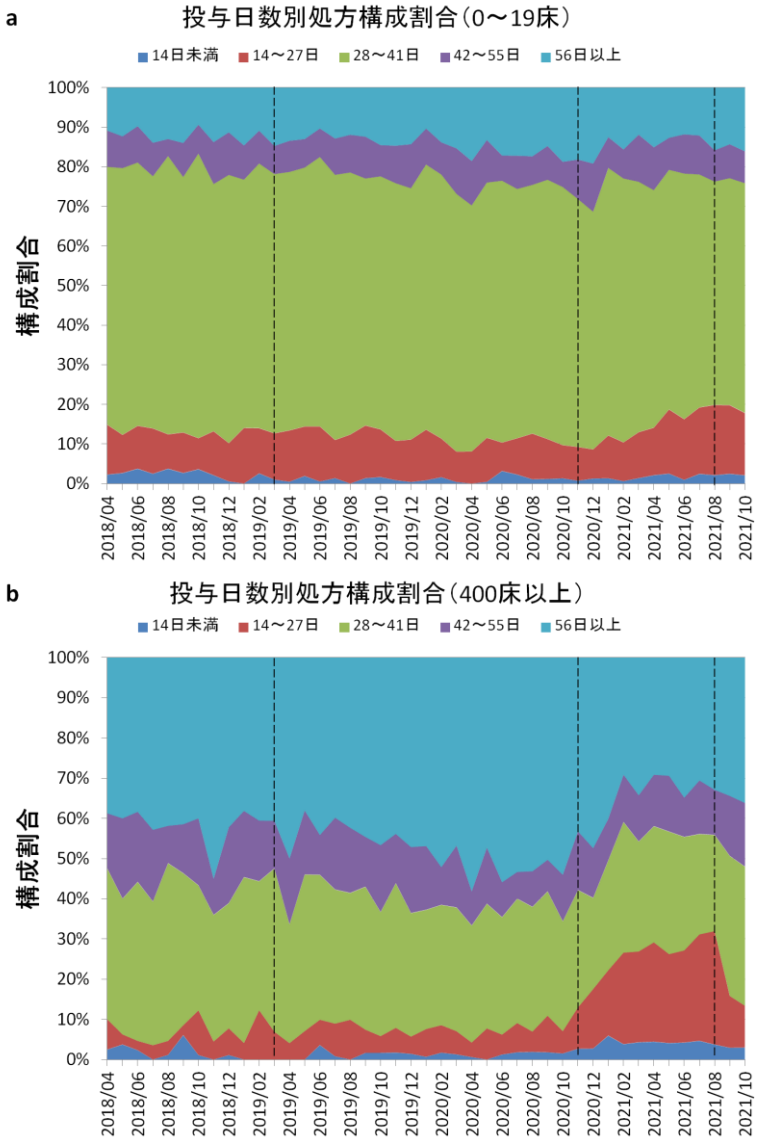


Fig. 3 投与日数別構成割合

今回はダパグリフロジンに着目して適応追加前後の処方傾向についての分析結果をご紹介しました。ご興味やご関心ある薬効群や集計項目等、その他ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

［本件に関するお問い合わせ先］
株式会社 日本医薬総合研究所　営業企画グループ
E-MAIL: soken-info@jpmedri.co.jp
TEL: 03-6810-0812（代表）
URL: https://www.jpmedri.co.jp/